

小学校 中学年	題材名  <b>テレビ・ゲームとわたしたち</b>
------------	---------------------------------

1 題材について

現代は、情報過多時代と言われるように、様々な情報があふれており、テレビ等のマスメディアがわたしたちの生活や人間形成に大きな影響を与えている。これらの中には、誤った性に関する情報や過激な性描写等、子どもたちにとって好ましくないものも含まれている。しかしながら、この期の児童は、判断力や情報選択の能力がまだ十分でないため、与えられた情報を鵜呑みにしてしまいがちである。そこで、特に児童の生活と密着しているテレビやゲームからの情報に対する判断力、選択する能力を養うことは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

○ テレビやゲームの情報の受け止め方について考え、自分にとって必要なものを選ぶことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 好きなテレビ番組やゲームについて話し合う。 ・アンケート結果をもとに行う。	○ 予めアンケートをとる等して「なぜ好きか」「どんなところが面白いのか」等自由に意見を出させる。	
展開	2 テレビやゲームの良いところ、良くないところについて話し合う。  ○ 良いところ <ul style="list-style-type: none"> <li>・知らなかったことが分かる。 等</li> <li>・おもしろい。</li> </ul> ○ 良くないところ <ul style="list-style-type: none"> <li>・人がむやみに殴られたり殺されたりする。</li> <li>・エッチな表現がある。</li> <li>・真似してみたくなる。 等</li> </ul> 3 テレビを見る時、ゲームをする時に気を付けることを話し合う。 ・すべての情報を鵜呑みにしない。 ・良い情報を選ぶ。 ・健康に気を付ける。 等	○ 悪い面だけを強調しないようにする。 ○ 暴力、殺人の場面は生命軽視につながることを押さえる。 ○ 軽率な言葉づかいや態度をまねることが、時に周囲を不快にすることに気付かせる。 ○ 視聴率や購買意欲を高めるために誇張された表現や、過激な場面が多いことを知らせる。	・ワークシート <資料1>
終末	4 学習のまとめをする。 ・漫画やインターネット、携帯電話への対応について知る。	○ 他の情報源についても同じことが言え、判断して選択する必要があることを知らせ、実践化を促す。	・ワークシート <資料1>

4 他の教育活動との関連

○ 情報（総合的な学習の時間）

5 授業の配慮事項

○ 情報には有益なものも含まれ、すべてが不適切ではないということを十分に踏まえる。

名前 ( )

1 テレビやゲームのよいところは？

《テレビ》	《ゲーム》
-------	-------

2 テレビやゲームのよくないところは？

《テレビ》	《ゲーム》
-------	-------

3 今日の学習を通して分かったことや思ったことを書きましょう。

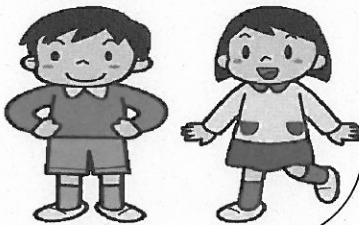
-----

-----

-----

-----

-----



<家庭へのお知らせ>

○月○日（○曜日）の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
今回の題材は、「テレビ・ゲームとわたしたち」でした。子どもたちが日頃よく見ているテレビや行っているゲームの良いところや良くないところについてみんなで考えました。  
テレビやゲームは、自分のためになるものもあるけれど、性に関する不適切な情報等、ためにならないものもあること、テレビを見たりゲームをしたりする時には、必要な情報を選択したり、内容や時間を考えてしたりすることが大切であること等を学習しました。ご家庭でも、テレビやゲームの楽しみ方について、約束ごとを決める等、もう一度ご確認ください。

指導事例

小学校 中学年	題材名  <b>命のつながり</b>
------------	--------------------------

1 題材について

地球上に生物が生まれてから、今日までその命が受け継がれてきた。

自分の命も父母から受け継がれたものであり、父の命はその父母から、母の命もその父母から受け継がれてきたものである。しかし、児童は、命が代々受け継がれていることを改めて意識することはなく、家族によって命をつないでいること、自分たちも将来の命をつなぐ担い手であることを理解させ、命の連続性と尊さについて気付かせることは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 家族は新しい命を生み出してつないでいることを知り、命の連続性と尊さについて気付くことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 家族の構成について考える。 ・自分の家族 (祖父母、親、兄弟姉妹 等) ・他の家族 (大家族 等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な家族の形態があることに気付かせる。</li> <li>○ 両親がそろっていない、兄弟がいない等、各家庭の状況を事前に把握し、十分な配慮を行う。</li> </ul>	・家族の絵 <資料1>
展開	2 自分の命の誕生について考える。 ・自分を産み育てた人 ・父母を産み育てた人 ・祖父母を産み育てた人  3 命の連続性について話し合う。 ・自分の先祖 ・自分の子孫	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 父母がいて自分の命が生み出され、今の自分があることに気付かせる。また、父母にも父母を生み育てた父母の存在があることに気付かせる。</li> <li>○ 5代さかのぼると32人、6代さかのぼると64人、10代さかのぼると1024人…多くの人の命を受け継いでいる自分に気付かせる。</li> <li>○ 大昔から、人間は命を受け継ぎ、家族を築いてきたこと、また、今後自分達の命を後世に受け継いでいくことの大切さも理解させる。</li> </ul>	・家系図(例) <資料2>
終末	4 学習のまとめをする。 ・考えたことを発表する。 ・絵本を読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考えたことについて発表し合ったり、「命のつながり」に関する絵本を読んだりすることによって自分の命も友達の名も、命はみんな大切なものであり、大切ではない命はひとつもないことに気付かせる。</li> </ul>	・絵本その他

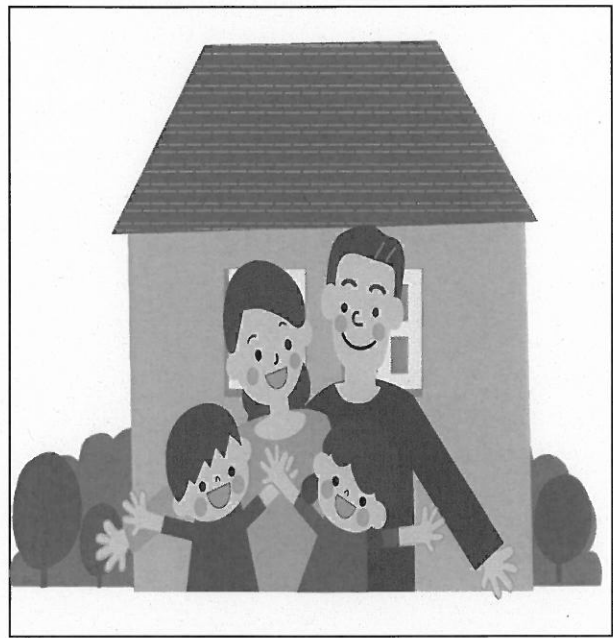
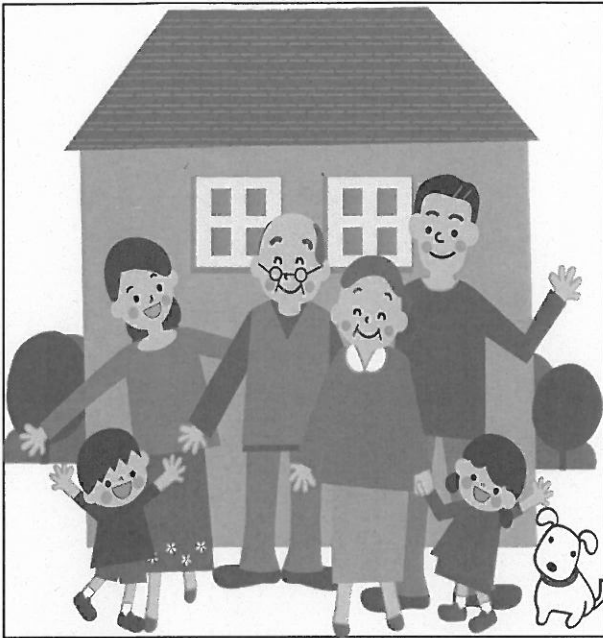
4 他の教育活動との関連

- 生命尊重(道徳)
- 育ちゆく体とわたし(4年体育)

5 授業の配慮事項

- 児童一人一人の生育環境、家庭環境に十分配慮する。

<資料1>家族の絵



<資料2>家系図(例)



1人のぼく・わたしに  
 2人の父母  
 4人の祖父母  
 8人の曾祖父母  
 ・  
 ・  
 5代さかのぼると32人  
 10代さかのぼると1024人  
 20代さかのぼると…  
 命は続いている  
 ずっと昔から  
 これからもずっと…

<家庭へのお知らせ>

○月○日(○曜日)の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。  
 今回の題材は「命のつながり」でした。  
 性に関する授業では、命の尊さを子どもたちに伝えることを基盤としています。  
 自分の命は、父母によって受け継がれたものであり、父母の命は、祖父母から受け継がれ、祖父母の命は、曾祖父母から受け継がれ…というように、自分の命は何十年も何百年も前から受け継がれてきたものであることを学習しました。  
 この学習を通して、子どもたちは命の連続性や命の尊さに気付いたことと思います。  
 ご家庭でも、おじいちゃん・おばあちゃん、ひいおじいちゃん・ひいおばあちゃんなど、家族のお話をしていただけると、子どもたちはかけがえのない自分の命についてさらに実感するのではないのでしょうか。

小学校 中学年	題材名  <b>命を守る（性被害から身を守る）</b>
------------	-----------------------------------

1 題材について

近年、誘拐や性的いたずら、声かけ事案等、子どもたちが性被害の対象となる犯罪が増えている。しかし、子どもたちは「自分だけは大丈夫」、「子どもは大丈夫」等と他人事として考えている場合も多い。そこで、そのような被害から自分の身を守る行動について理解し、実践できる力を身に付けさせることは重要であると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 声かけ事案の多くは性被害に結びつくことを理解し、自分自身の身を守るための態度や行動を身に付けることができる。

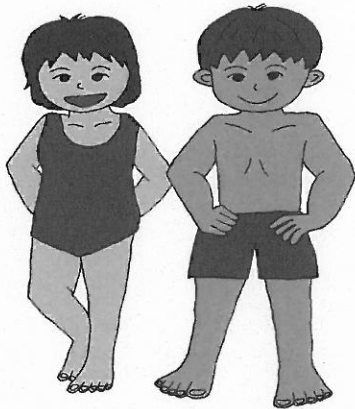
3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 性被害について知る。 ・プライベートゾーン ・性被害 { プライベートゾーンを触られる プライベートゾーンを見せられる エッチな言葉を言われる 等 }	○ 見られたり触られたりしたくないプライベートゾーンについて押さえ、性被害について知らせる。 ○ 地域で実際に起きた不審者情報についても取り上げる。	・男女の水着姿の絵 <資料1>
展開	2 事例をもとに、性被害の予防について考える。 ・Aさんは、被害に遭うのを避けられなかったのか。 ・Aさんは、なぜ誘われたのか。  3 身近な性被害（不審者情報）について知る。 ・時間帯（夕方が多い） ・場所（死角になりやすいところ） ・状況（一人の時）  4 声をかけられた時の対応の仕方を練習する。 ・相手との距離の置き方 ・助けの呼び方 ・逃げ方	○ Aさんは、被害に遭うのを避けられた可能性があることに気付かせる。 ○ このような声かけは、性的いたずらが目的であることが多いことを知らせる。 ○ 被害に遭いやすい時間や場所、状況をできるだけ作らないことを意識させる。  ○ 自分の身は自分で守れるようになることが大切であることに気付かせる。 ○ はっきり断る、距離をとる、危険を感じたら大声を出す、すぐ逃げる…など実際に練習させる。	・事例 <資料2> ・ワークシート <資料3>
終末	5 学習のまとめをする。 ・「イカのおすし」を確認する。	○ 「ついて <b>イカ</b> ない」 「 <b>の</b> らない」 「 <b>お</b> お声を出す」 「 <b>す</b> ぐ逃げる」 「 <b>し</b> らせる」のポイントを 「イカのおすし」でまとめる。	・「イカのおすし」 <資料4>

4 授業の配慮事項

- 必要以上に留守番や下校を怖がったりすることがないようにするため、対応の仕方に重点を置いて実際に練習をさせる。

<資料1> 男女の水着姿の絵



プライベートゾーンは

見ない・見せない  
さわらない・さわらせない  
エッチな言い方をしない

<資料2> 事例

「さようなら」のあいさつが終わってから、Aさんは、友達を待つ間、運動場のブランコで遊んでいました。

友達がなかなか来ないので時計を見ると、4時半になっていました。Aさんは、あわてて校門を出て、一人で帰りました。

「急いで帰らないと・・・。」そう思ったAさんは、近道をして、いつもは通らない人通りの少ない道を急いで帰りました。

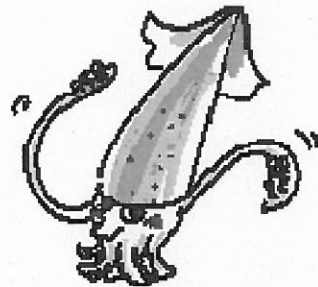
しばらくして歩き疲れた時、ふと目の前に知らないおじさんが現われて「急いでいるんだね。お家まで車で送ってあげるよ。乗りなさい。」とやさしく声をかけてくれました。

辺りはずいぶんうす暗くなっていました。Aさんは、「助かった～」と思い、車に乗せてもらいました。・・・が・・・Aさんは、そのまま連れ去られてしまいました。

<資料4> 宮崎県警ホームページより 「イカのおすし」

《イカのおすし》

- ◎「イカ」・・・知らない人についてイカない
- ◎「の」・・・人のくるまにのらない
- ◎「お」・・・おお声をだす
- ◎「す」・・・すぐにげる
- ◎「し」・・・なにかあったらすぐしらせる



<家庭へのお知らせ>

○月○日(○曜日)の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。

今回の題材は「命を守る」でした。

近年増えている不審者から身(命)を守る学習です。

一般的な不審者の出やすい時間帯(夕方)・場所(死角になりやすい場所)・状況(一人の時)等を学習し、不審者に遭遇したらどうしたら良いかを考え、実際に練習しました。「知らない人についてイカない」、「知らない人の車にのらない」、「おお声を出す」、「すぐ逃げる」、「すぐしらせる」の5点を「イカのおすし」の合い言葉でまとめました。

ご家庭でも、近所・通学路の危険な場所について、具体的にお子さんと話をしてみましょう。命は一つです。「うちの子だけは大丈夫!」「まだ小学生だから大丈夫!」といった認識は危険です。



名前 (

)

1 Aさんは、なぜ、ひ害にあったのでしょうか。

考えられる理由をできるだけ、たくさん書きましょう。

Blank area for writing answers to question 1.

2 こんな時、どうしますか？

Panel 1: A girl asks a boy with a lollipop, "キャンディーあげるから、おいでよ。" (Give me candy, come here.)

Panel 2: A woman asks a boy with a backpack, "お母さんが病気がしいから、病院まで車に乗せて行ってあげる。" (My mother is sick, I'll take you to the hospital in a car.)

Panel 3: A boy in a cap asks a girl, "かわいいね。写真をとってあげるよ。" (You're cute. I'll take a photo of you.)

Panel 4: A girl asks a boy with glasses, "道が分からないから、いっしょに車に乗って案内してくれませんか。" (I don't know the way, can you take me in a car and guide me?)

指導事例

小学校 中学年	題材名  <b>男女なかよく</b>
------------	--------------------------

1 題材について

この期の児童は、体の発育の仕方によって体つきや遊びの好み等、男女の違いが顕著になってくる。また、同性同士の集団を形成し始め、結束が強くなる一方で、異性に対しては、反発したり無関心を装ったりする等、互いに意識し始める時期でもある。

このような中、男女が協力し合っていくためには、異性への理解を深め、お互いに協力し合うことが大切である。

そこで、男女がお互いを理解し合い、協力し合いながら楽しい学級・望ましい人間関係を築いていくという態度を育てることが重要であると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 「男女なかよし」の学級づくりのための問題点を整理し、男女がお互いを理解し合い、みんなで協力し合いながら、楽しく生活することができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 学級の男女の様子について話し合う。 ・男女が仲よくできる時 ・男女が仲よくできない時とその理由 ・みんなの願い	○ 日常生活の中で男女が仲よくできている時とできていない時があることに気付かせる。 ○ 「男女なかよし」はみんなの願いでもあることに気付かせる。	
展開	2 具体的な場面を設定し、男女が仲よく過ごしていくにはどうしたらよいか話し合う。  ・太郎君の学級の例  ・次郎君の学級の例	○ 2つの学級の例を比較しながら読ませ、結果に違いが出た理由を考えさせる。  ○ 男女が互いに考えを主張するだけでは問題が解決しないことに気付かせる。 ○ 次郎君の学級の場合をロールプレイさせることでお互いの気持ちに共感させる。	・ワークシート <資料1>
	3 男女が仲よく過ごすためには、どんなことが大切か話し合う。	○ 自分なりの考えをもたせるためワークシートに記入させる。	・ワークシート <資料1>
終末	4 学習のまとめをする。 ・考えたことを発表する。	○ 考え方や行動に男女差が出てくる時期ではあるが、男女仲よく協力し合って過ごすことが大切であることを確認させ、実践意欲を高める。	

4 他の教育活動との関連

- 友情・信頼・助け合い（道徳）

5 授業の配慮事項

- 男女の協力や役割分担には、多様なスタイルがあることに配慮する。



## 名前 ( )

☆ 太郎君の学級と次郎君の学級で昼休みに何をして遊ぶかの相だんが始まりました。

### 【太郎君の学級】

- 男子① 「今日はみんなで遊ぶ日だね。何をして遊ぶ?」  
男子② 「サッカーがいい!」  
女子① 「え～。サッカーつまんない。だって、男子だけにボールが回るわ。」  
男子③ 「そんなことないよ!女子が走ってパスをもらいに来ないからだよ～」  
女子② 「けいどろがいいな。だってみんなで楽しめるもの。」  
男子④ 「でも、女子は、おしゃべりばかりしていてつかまえに来ないじゃないか!」  
女子③ 「じゃあ、ドッジボールは?」  
女子④ 「男子のボールは強いから、いっしょにしたくないな。」

### 【次郎君の学級】

- 男子① 「今日はみんなで遊ぶ日だね。何をして遊ぶ?」  
男子② 「サッカーがいい!」  
女子① 「男子はサッカー大好きなものね。でも、わたしたちはサッカー苦手なんだ～」  
女子② 「けいどろはどう?」  
男子③ 「おもしろそうだね。でも、ほかのみんなの意見はどうかかな?」  
男子④ 「ぼくはドッジボールがいいけど…」  
女子③ 「男子のボールは強いからこわいな。」  
男子⑤ 「じゃあ、女子に投げる時にはやさしく投げるよ。それから、女子にもちゃんとボールを回すよ!」  
女子④ 「ありがとう!じゃあ、やってみましょうか!」

何をして遊ぶかが決まらないまま昼休み時間が終わってしまいました。

男子も女子もなかよくドッジボールをして楽しく遊びました。

### ～考えよう～

☆ 男女が仲よくすごすためには、どんなことが大切でしょうか。



Blank space for writing answers to the question above.

### <家庭へのお知らせ>

○月○日(○曜日)の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。

今回の題材は「男女なかよく」でした。

毎日一緒に勉強したり遊んだりしていても、男女が仲よく過ごせたり過ごせなかったりするの、この時期の子どもたちです。そこで、男女が仲よく過ごすためにはどうしたら良いかについて、実際にうまくいった場面とうまくいかなかった場面とを設定して演じてみる等しながら、みんなで考えました。

楽しい学校生活を送るためには、異性に対する理解が欠かせません。この学習を通して、男女が互いに理解し合い、協力し合いながら、さらに楽しい学校生活を送ってくれるようになることを願っています。

小学校 中学年	題材名  <b>命のはじまり</b>
------------	--------------------------

1 題材について

中学年になると、次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経や精通が起こる等、第二次性徴の発現が見られるようになり、自他の体の変化や異性に対する関心をもち始める。

そこで、この期の児童に生命誕生のしくみについて科学的に知らせ、生命の尊さに気付かせるとともに、自他の生命を大切にする心情や思いやりの態度を養うことは意義深いと考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 人の命は、お父さんの精子とお母さんの卵子が会うことから始まり、母親の胎内で大切に育まれていくことを理解し、自他の生命の大切さに気付くことができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 赤ちゃんの始まりについて話し合う。 ・産声と赤ちゃん  ・胎児の心音と胎児の絵  ・卵子の大きさ	○ 赤ちゃん→胎児→卵子とさかのぼって考えさせることで、赤ちゃんの始まりを意識付ける。 ○ 胎児の心音から、小さな体（妊娠12週頃）で力強く生きている胎児の姿を感じとらせる。 ○ 卵子の大きさ（約0.1mm）を分かりやすく知らせ、小さな命の始まりを実感させる。	・産声テープ ・赤ちゃんの絵 <資料1> ・胎児の心音 ・胎児の絵 <資料2>
展開	2 命のはじまりについて知る。 ・精子（赤ちゃんのもと） ・卵子（赤ちゃんのもと） 3 お腹の中での成長について知る。 ・羊水で守られている。 ・へその緒でつながっている。 ・長い年月をかけて生まれている。 4 妊娠中の家族の生活を知る。 ・食べ物・運動・休養 ・定期検診 ・家族の支え	○ お父さんの精子とお母さんの卵子が会って命がはじまることを理解させる。 ○ 小さな受精卵が、母親のおなかの中で栄養や愛情を受けながら、約10ヶ月かけて成長していくことを理解させる。 ○ 妊娠中の母親や家族は、胎児の健康に注意しながら過ごすことについて理解させる。 ○ 家族みんなに祝福されて命が誕生することを感じとらせる。 ○ 妊娠中・出産時の苦しみを強調し過ぎないように留意する。	・男女の絵 <資料3>  ・母体のしくみ <資料4>  ・胎児の成長の様子 <資料5>
終末	5 学習のまとめをする。 ・家族への手紙を書く。	○ 学習したことの感想や、家族への感謝の手紙を書かせまとめとする。	・手紙用紙 <資料6>

4 他の教育活動との関連

- 生命尊重（道徳）
- 育ちゆく体とわたし（4年体育）

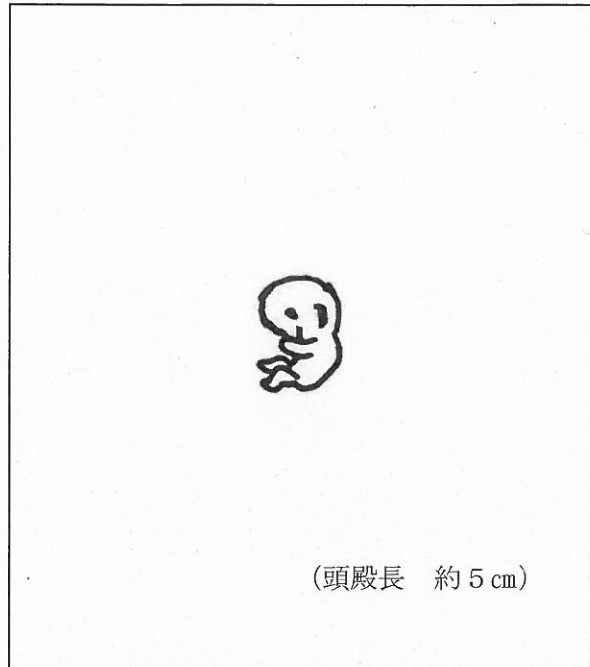
5 授業の配慮事項

- 児童一人一人の生育環境、家庭環境に十分配慮する。
- 性交については、取り扱わない。

<資料1> 赤ちゃんの絵 (新生児)

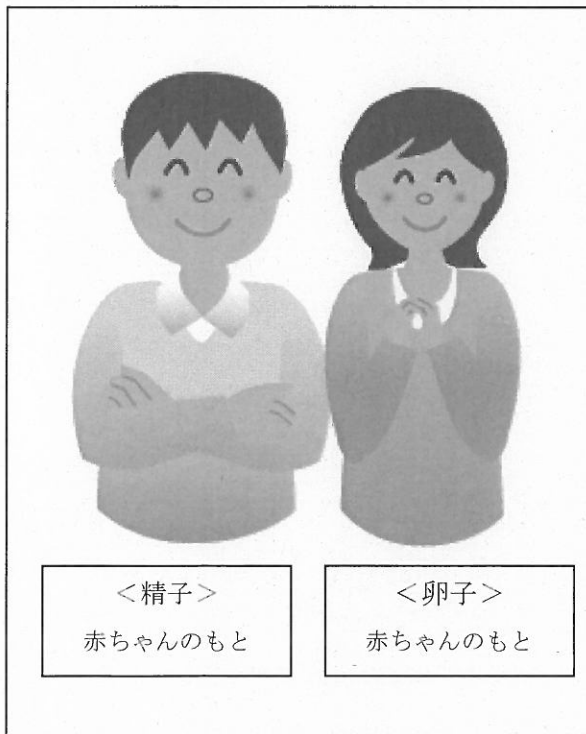


<資料2> 胎児の絵 (妊娠 12週) 頭殿長約 5 cm

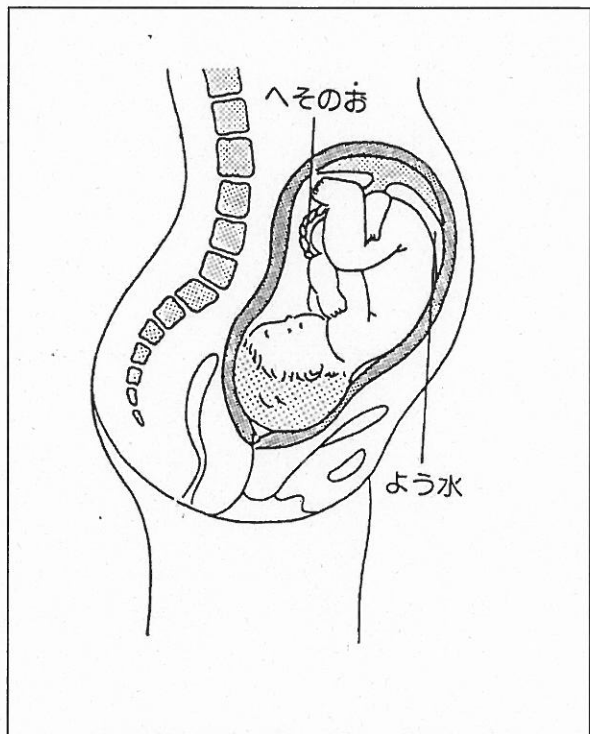


\* 頭殿長：赤ちゃんの頭骨のてっぺんからお尻の突出部の中点までの長さのことです。

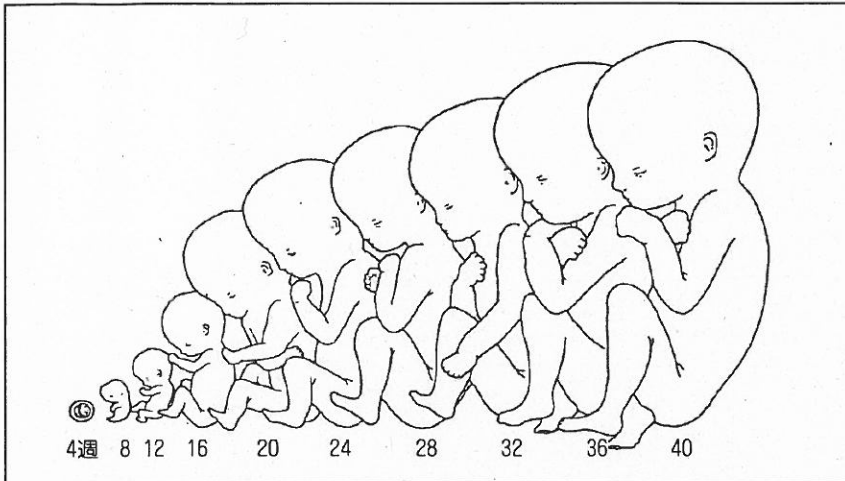
<資料3> 男女の絵



<資料4> 母体のしくみ

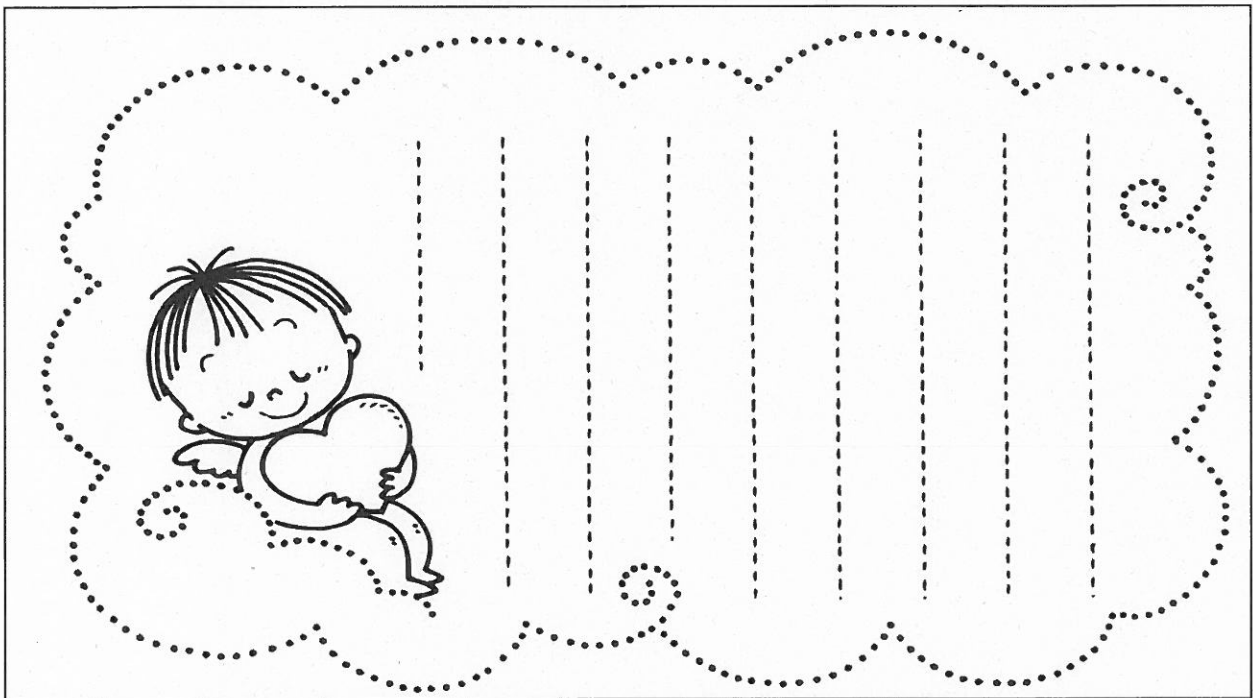


<資料5> 胎児の成長の様子



- ・ 心臓は6週ごろから動き始める。
- ・ 心音は、8週～12週くらいで聞かれるようになる。

<資料6> 手紙用紙 (出町書房許諾番号002111202)



<家庭へのお知らせ>

○月○日 (○曜日) の学級活動の時間に、性に関する授業を行いました。

今回の題材は「命のはじまり」でした。

お父さんの精子とお母さんの卵子が会うことから命が芽生えること、赤ちゃんは、お母さんのおなかの中で栄養や家族みんなの愛情を受けて成長すること、赤ちゃんの誕生は、家族みんなの喜びであること等を学びました。

最後の学習のまとめでは、家族にお手紙を書きました。お子さんと一緒に読んでいただき、お子さんがおなかの中にいた時のことや生まれた時のことなど、愛情たっぷりに話してあげてください。

小学校 中学年	題材名  <b>初経（月経）ってなあに？</b>
------------	--------------------------------

1 題材について

4年生の体育（保健領域）の学習の中で、児童は思春期の体の変化のひとつとして、初経や精通が起こることについて学ぶが、実際の手当ての仕方や初経（月経）時の留意点等について詳しく学習することは難しい。そこで、女子を対象に、初経（月経）に対する不安や恐怖心を取り除き、初経（月経）時の手当ての仕方やマナー等について指導することが必要であると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 初経（月経）の起こるしくみや、月経時の手当ての仕方、留意点等を具体的に理解し、実践することができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 「育ちゆく体とわたし」で学習したことを想起する。 ・初経と精通 ・初経を迎える時期 ・個人差	○ 保健学習を想起させながら、初経を迎える時期には個人差があり、これから数年の間に誰もが迎える大人の体に近づく現象であることを伝え、関心を高めさせる。	
展開	2 初経（月経）が起こる仕組みについて確認する。 ・赤ちゃんのもと（卵子） ・赤ちゃんをおなかの中で育てる準備  3 月経時の手当ての仕方について知る。（必要なもの） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">                 ・ナプキン ・サニタリーショーツ                  ・ナプキンやショーツを入れるポーチ             </div> ・手当の仕方 ・マナー ・身体を清潔にすること	○ 初経（月経）のしくみについて確認させる。  ○ 手当の仕方について具体的に理解させる。 ○ 使用後のナプキンの始末の仕方もマナーとして理解させる。  ○ 初経（月経）の時は、担任、養護教諭、母親等、身近な大人に話すの良いことを知らせる。	
終末	4 初経（月経）時に気を付けることについて知る。 ・水泳 ・入浴 ・不快感への対応 ・服装  5 疑問に思うことや不安なことを質問する。	○ 初経（月経）は不快感を伴うこともあるが、病気ではないので心配し過ぎないことを押さえる。 ○ 質問しやすい雰囲気作りに努め、児童の不安を解消する。	
	6 学習のまとめをする。	○ 手当て等の要点を確認し、まとめとする。	

4 他の教育活動との関連

- 育ちゆく体とわたし（4年体育）

5 授業の配慮事項

- 初経（月経）時の具体的な処置の仕方が主な学習内容であるため、女子だけの指導が望ましい。

指導事例（男子を対象とした指導）

小学校 中学年	題材名  <b>射精のしくみと対応</b>
------------	-----------------------------

1 題材について

4年生の体育（保健領域）の学習の中で、児童は思春期の体の変化のひとつとして、精通や初経が起こることについて学ぶが、実際にそのしくみや対応の仕方等について詳しく学習することは難しい。

そこで、男子を対象に、射精（精通）に対する不安や恐怖心を取り除き、射精（精通）時の対応の仕方やマナー等について指導することが必要であると考え、本題材を設定した。

2 ねらい

- 射精（精通）のしくみや対応の仕方、マナー等について具体的に理解し、実践することができる。

3 指導展開例

段階	学習内容及び活動	指導上の留意点	資料・準備
導入	1 「育ちゆく体とわたし」で学習したことを想起する。 ・精通と初経 ・精通を迎える時期 ・個人差	○ 保健学習を想起させながら、精通を迎える時期には個人差があり、これから数年の間に誰もが迎える大人の体に近づく現象であることを伝え、関心を高めさせる。	
展開	2 射精のしくみについて知る。 ・男性器のしくみ（精巣、精子等） ・射精が起こる理由やしくみ（射精、夢精等）  3 射精（夢精）の適切な対応について知る。 ・対応の概要等 ・身体を清潔にすること ・汚れた下着などは自分で洗うこと ・困ったことや、わからないことがあるとき	○ 図を示しながら男性器とその働き等について確認をさせる。ただし、勃起や射精を表した図等は用いない。  ○ 個人差があり、精通を迎えていない児童にも、いずれは経験する時が来ることを理解させる。 ○ 射精が始まるということは、大人の男性に近づいているということを押さえる。	・生殖器を示した図
終末	4 学習のまとめをする。 ・射精の意味や対処の仕方について確認する。	○ ポイントを確認するとともに、自然な成長の過程であることを押さえ、まとめとする。	

4 他の教育活動との関連

- 育ちゆく体とわたし（4年体育）

5 授業の配慮事項

- 射精（精通）時の具体的な対応の仕方が主な学習内容であるため、男子だけの指導が望ましい。